

# トステム株式会社 NCVオペラ コーナー窓CF (テラス) タイプ 組立て・取付け説明書

## 【組立て方法】

### ■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

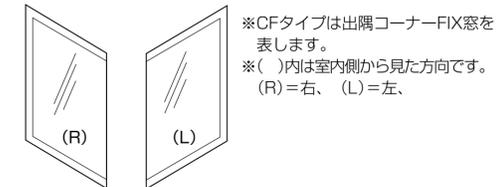
**▲注意**…組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 8mmガラスを使用してください。8mmより薄いガラスを使用される場合は、サッシH及びサッシWを小さくしないと、ガラス破損によりケガをするおそれがありますので、必ず商品問合せ窓口にて確認の上、使用してください。
- 突合わせ部のガラスのエッジは、室内側及び室外側から人体が接触してもケガをしないよう、必ず面取りしてください。
- 突合わせ部のガラス同士のすき間は、コーキング材の接着強度を高めるため、5mmにしてください。すき間が小さすぎると、ガラスが風圧等でたわんだ際にシーリングが切れ、雨漏れやガラス破損の原因になります。
- 枠の組立ての際は、雨漏れの原因にならないように、ねじ止め後の緩みやガタツキの確認を必ず行ってください。
- ガラス突合わせ部及び上下枠コーナーブロックとガラスとのすき間は、別途シーリング処理してください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5N \cdot m$  { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

## ■組合せタイプ

### ●CFタイプ(R)+CFタイプ(L)



## ■ねじ一覧表

図中の①～④はねじの種類を表します。

①	②	③	④
バインドタッピンねじ φ4×20	縦枠上部補強裏板	ナベタッピンねじ φ4×90	プッシュボタン

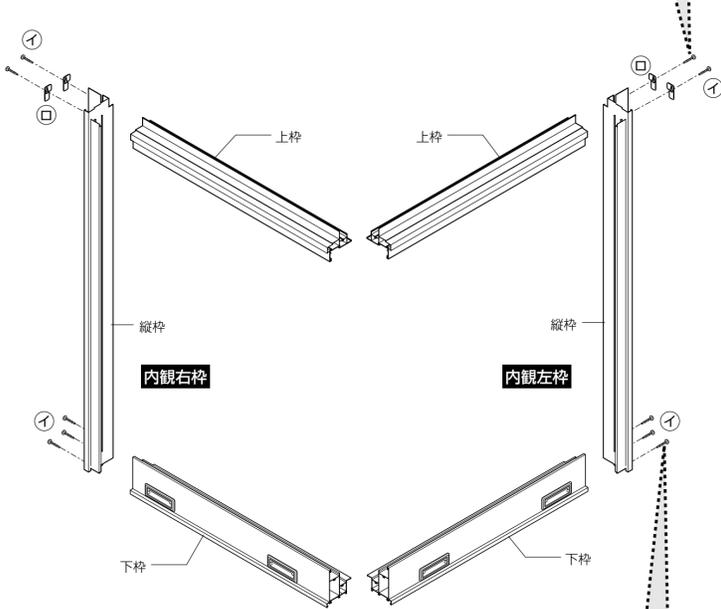
## ■組立て順序

### 1 枠の組立て

- ①CFタイプの(R)の枠(内観右枠)を組み立てます。
- ②CFタイプの(L)の枠(内観左枠)を組み立てます。

### ▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5N \cdot m$  { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

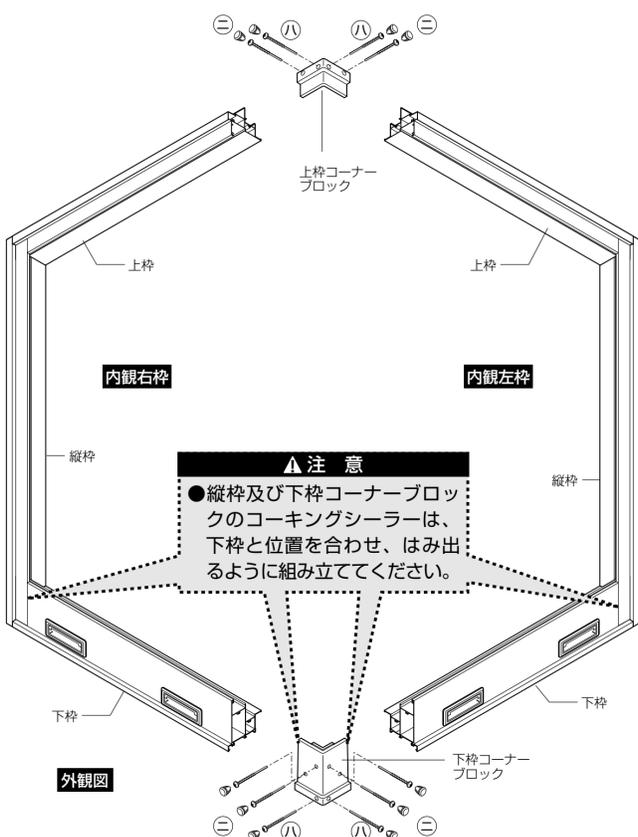


### ▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5N \cdot m$  { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

### 2 左枠と右枠の固定

- 左右の枠をコーナーブロックで固定します。  
※コーナーブロックの破損を防ぐため、枠を運搬する際は、左右の枠を別々にし、現場で一体に組み立ててください。  
※必ず左・右枠を組み立てた後に、コーナーブロックで連結してください。

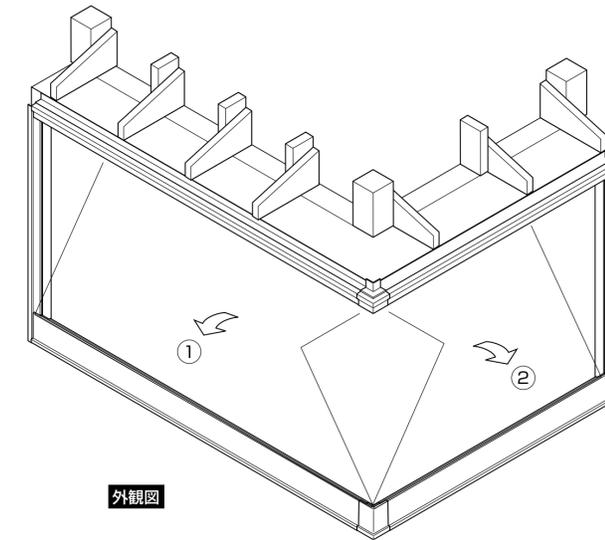


### ▲注意

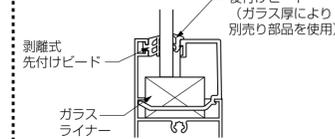
●縦枠及び下枠コーナーブロックのコーキングシーラーは、下枠と位置を合わせ、はみ出るように組み立ててください。

## 3 FIX部のガラス入れとシーリング処理

- ※FIX部のガラスは、枠を躯体に固定した後、入れてください。
- ①左右枠のうち、長手のガラスから入れます。室内側から、下枠にガラスを建て、その状態から起こしてください。
  - ②ガラスが倒れてこないように、縦押縁、上押縁、下押縁の順で入れ、後付けビードを少し入れて仮固定します。
  - ③もう一方のガラスも同じ要領で入れます。
  - ④ガラス突合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、ころびのある場合は、ガラスライナー部にカイ物を入れ、突合わせ面を平らにしてください。
  - ⑤ガラス調整をした後は、後付けビードをサッシの全周に入れて、ガラスを確実に固定してください。
  - ⑥ガラス突合わせ部が、油や水滴、ゴミ等で汚れているとシーリングが剥離する原因になりますので、処理面の汚れをきれいに取り除きます。
  - ⑦シーリング箇所周辺を、テープでマスキングし、シリコンシーラント(透明)で処理します。終了後、テープをはがし、そのまま一昼夜養生してください。
  - ⑧上下枠コーナーブロックとガラスの屋外側との溝は、シーリングでふさいでください。



## ■A部詳細



### ●別売の後付けビード

使用ガラス厚	使用ビード
5mm	5mm用と指定してください。
6mm	6mm用と指定してください。
6.8mm	6.8mm用と指定してください。
8mm	先に先付けビードを剥離してから6.8mm用を使用してください。

## ■ガラス寸法表

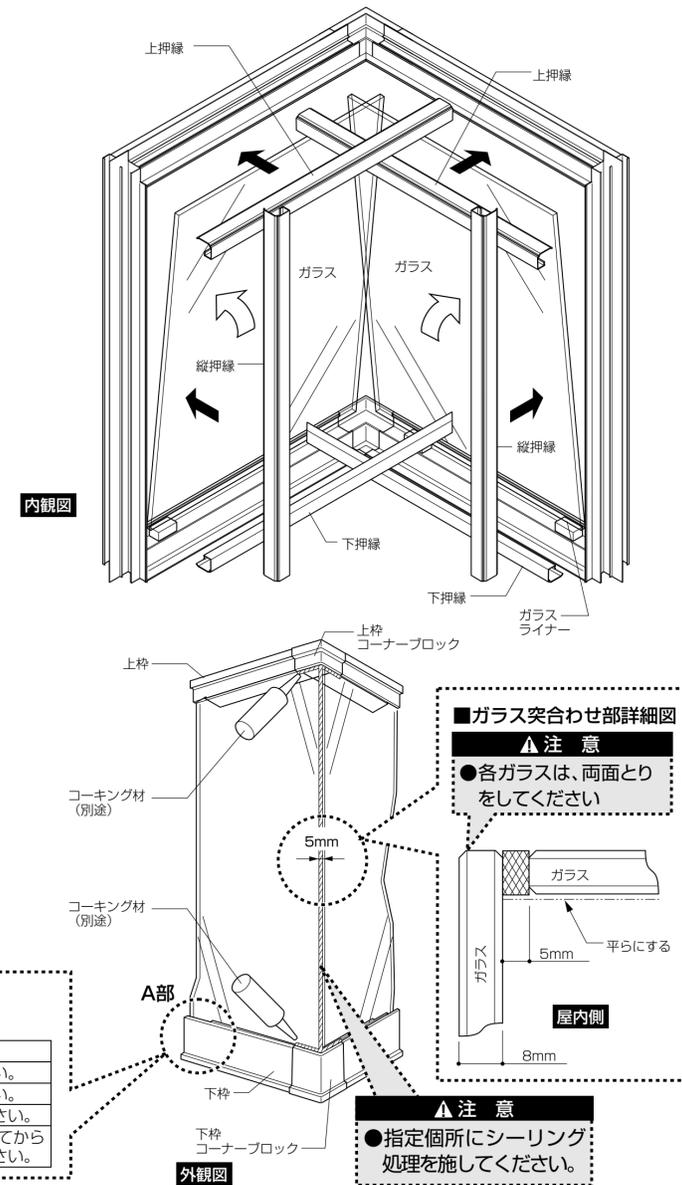
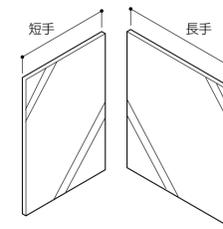
### ●H寸法

姿図	H18	H20	H22
	1739	1939	2139

### ●W寸法

姿図	W011	W048	W074
CFタイプ (L)	421	796	1251
	434	809	1264
CFタイプ (R)	421	796	1251
	434	809	1264

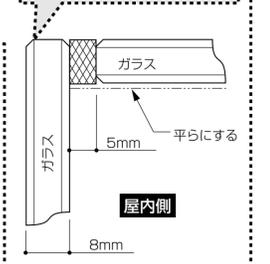
※FIX部のW寸法は、突合わせのため左・右の窓いずれか一方を13mm短くします。FIXガラス寸法表中、上段が短手下段が長手になっています。下図のように、長手・短手の組合せで選んで固定します。  
※コーナーブロックの破損を防ぐため、枠を運搬する際は、左右の枠を別々にし、現場で一体に組み立ててください。



## ■ガラス突合わせ部詳細図

### ▲注意

●各ガラスは、両面とりをしてください



### ▲注意

●指定箇所シーリング処理を施してください。

**【取付け方法】**

**■施工される方へのお願い**

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

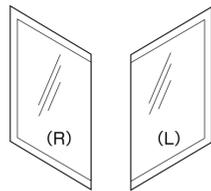
**▲注意**…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

- ガラス突合わせ部及び上下枠コーナブロックとガラスとのすき間は、別途シーリング処理してください。
- 枠の組立ての際は、雨漏れの原因にならないように、ねじ止め後の緩みやガタツキの確認を必ず行ってください。
- ガラスは、8mmガラスを使用してください。8mmより薄いガラスを使用される場合は、サッシH及びサッシWを小さくしないと、ガラス破損によりケガをするおそれがありますので、必ず商品問合せ窓口にて確認の上、使用してください。
- 突合わせ部のガラスのエッジは、室内側及び室外側から人体が接触してもケガをしないように、必ず面取り処理を行ってください。
- 突合わせ部のガラス同士のすき間は、コーキング材の接着強度を高めるため、5mmにしてください。すき間が小さすぎると、ガラスが風圧等でたわんだ際にシーリングが切れ、雨漏れやガラス破損の原因になります。
- 雨仕舞をより確実にするために、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(有償)を張ってください。

**■組合せタイプ**

**●CFタイプ(R)+CFタイプ(L)**



※CFタイプは出隅コーナFIX窓を表します。  
※( )内は室内側から見た方向です。  
(R)=右、(L)=左、

**■ねじ一覧表**

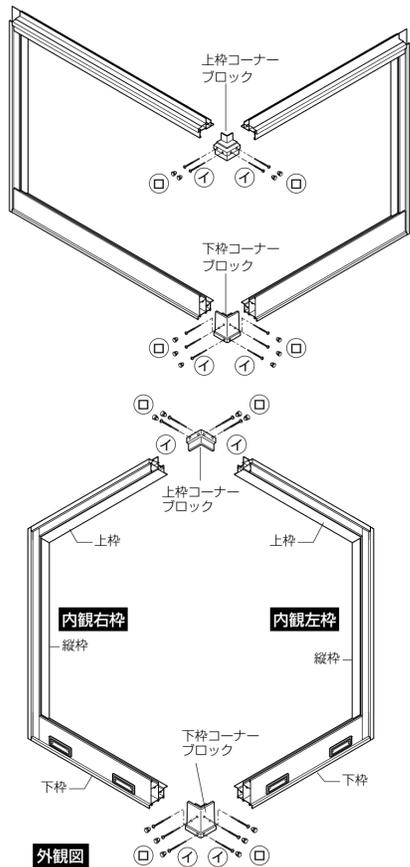
図中の㊦～㊨はねじの種類を表します。

㊦	㊧	㊨	㊩
ナベタッピンねじ φ4×90	プッシュボタン	ナベタッピン ねじφ4×35	皿木ねじ φ3.5×20

**■取付け順序**

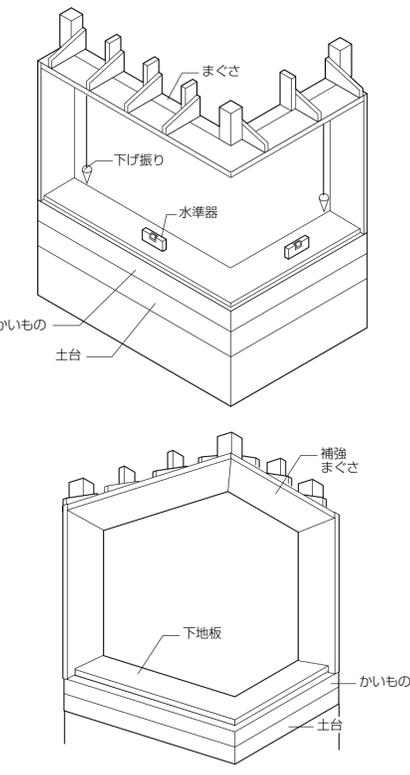
**1 枠の組立て**

- コーナブロックで左右の枠を一体化します。
- ①左・右枠の組立ては、組立て説明書をご覧ください。
- ②必ず、左・右枠を組み立てた後、躯体に取り付けます。



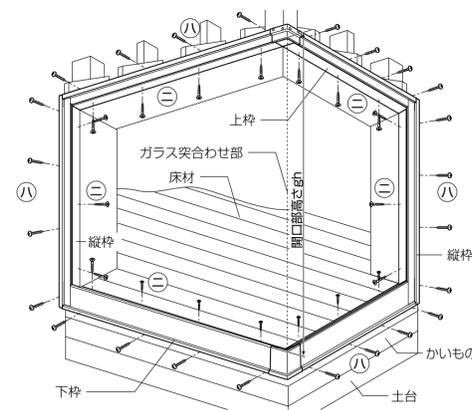
**2 開口部の作り方**

- ※本製品は、かなりの重量(07422サイズ・ガラス厚8mmで約120kg)がありますので開口部の補強は十分にしてください。
- ①取付け面を平らにします。
- ②左右の土台を同じ高さで水平にします。
- ③コーナ部の直角を正確に出します。
- ※補強した躯体の水平・垂直を確認してください。



**3 枠の取付け**

- ①一体に組み立てた枠を窓台にのせ、仮止めします。
- ②左・右縦枠の鉛直と下枠の水平を出します。
- ③ガラス突合わせ部分の開口高さ(gh)を、縦枠部分と同じに調整した後、枠全体を固定します。
- ※開口高さ(gh)が正確でないとガラス入れができません。
- ※サッシ枠の水平・垂直を出しながら外観(外側)は、ナベタッピンねじ(φ4×35)で固定し、内観(内側)は皿木ねじ(φ3.5×20)で固定します。



**■FIX部のガラス入れとシーリング処理**

- ※FIX部のガラスは、枠を躯体に固定した後、入れてください。
- ①左右枠のうち、長手のガラスから入れます。室内側から、下枠にガラスを建て、その状態から起こしてください。
- ②ガラスが倒れてこないように、縦押縁、上押縁、下押縁の順で入れ、後付けビードを少し入れて仮固定します。
- ③もう一方のガラスも同じ要領で入れます。
- ④ガラス突合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、こぼりのある場合は、ガラスライナー部にカイ物を入れ、突合わせ面を平らにしてください。
- ⑤ガラス調整をした後は、後付けビードをサッシの全周に入れて、ガラスを確実に固定してください。
- ⑥ガラス突合わせ部が、油や水滴、ゴミ等で汚れているとシーリングが剥離する原因になりますので、処理面の汚れをきれいにふき取ります。
- ⑦シーリング箇所周辺を、テープでマスキングし、シリコンシーラント(透明)で処理します。終了後、テープをはがし、そのまま一昼夜養生してください。
- ⑧上下枠コーナブロックとガラスの屋外側との溝は、シーリングでふさいでください。

**■ガラス寸法表**

●H寸法 単位(mm)

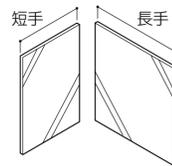
姿図	H18	H20	H22
	1739	1939	2139

●W寸法 単位(mm)

姿図	WO11	WO48	WO74
CFタイプ(L)	421	796	1251
	434	809	1264
CFタイプ(R)	421	796	1251
	434	809	1264

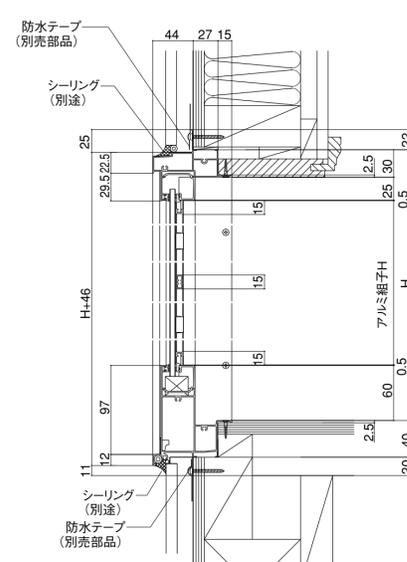
※FIX部のW寸法は、突合わせのため左・右の窓いすれか一方を13mm短くします。FIXガラス寸法表中、上段が短手・下段が長手になっています。下図のように、長手・短手の組合せで選んで固定します。

※コーナブロックの破損を防ぐため、枠を運搬する際は、左右の枠を別々にし、現場で一体に組み立ててください。

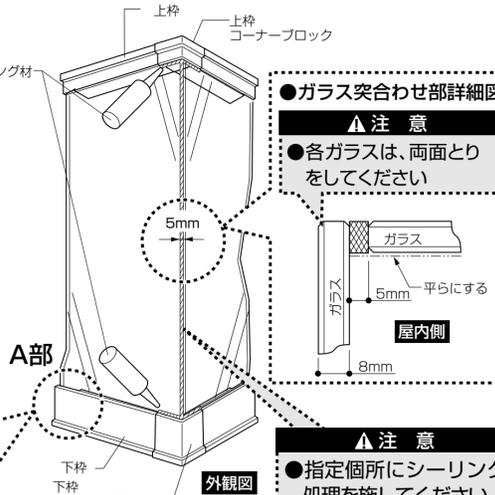
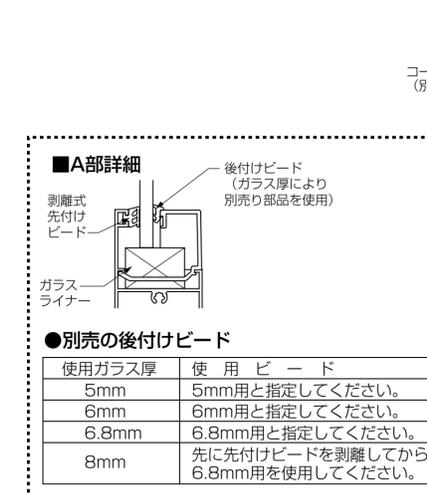
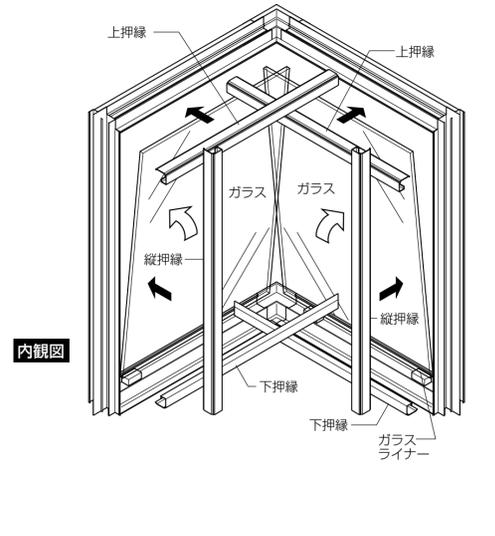
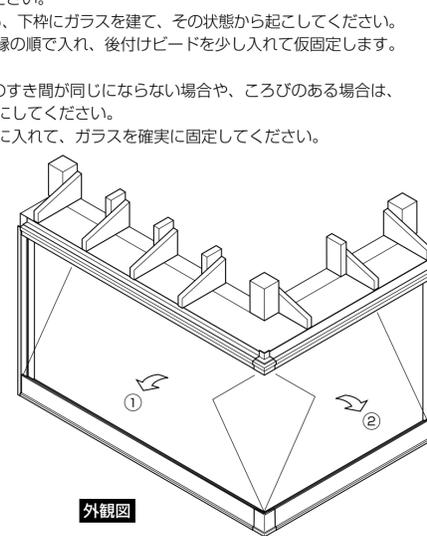
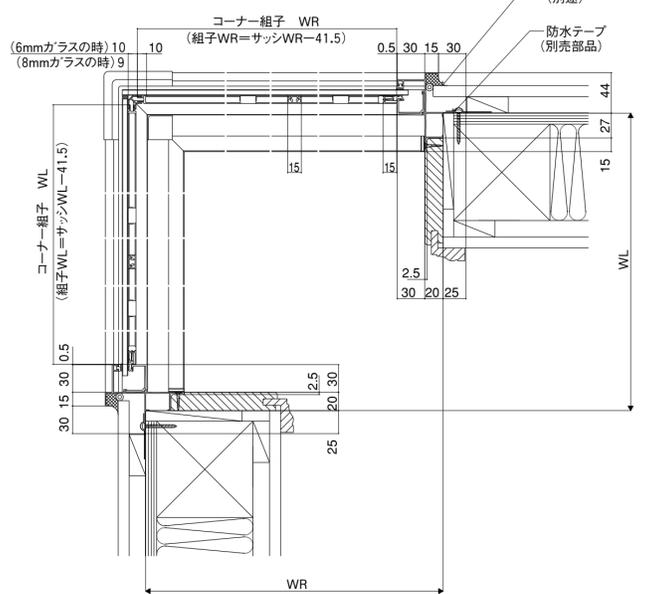


**■参考納まり図**

**●縦断面図**



**●横断面図**



**▲注意**  
●各ガラスは、両面とりをしてください

**▲注意**  
●指定個所にシーリング処理を施してください。